

参考「FLY Program」について

2013年に始まった「初年次長期自主活動プログラム（英文名称：FLY Program (Freshers' Leave Year Program)）」は、入学した直後の学部学生が、自ら申請して1年間の特別休学期間を取得したうえで、自らの選択に基づき、東京大学以外の場において、ボランティア活動や就業体験活動、国際交流活動など、長期間にわたる社会体験活動を行い、そのことを通じて自らを成長させる、自己教育のための仕組みです。「プログラム」といっても、大学から与えられたパッケージのプログラムではなく、その活動内容は学生自身の主体的な判断によって決定されます。

欧米の大学では、入学前などの時期に、こうした「寄り道」を認める「ギャップイヤー」と呼ばれる仕組みが普及・定着しています。東京大学の本取組は、これに準じた、日本における先導的な試みの一つです。東京大学の教育改革の一環として、FLY Programは重要な意義を持つものであり、後援くださる企業・団体をはじめ、各界から大きな期待が寄せられています。

このFLY Programに参加する学生には、与えられた問題を解く受験勉強から解放されて、自分たちが生きてきた世界とは違った価値や原理で動く社会を体験し、そのうえで、何のために、何を大学で学ぶかについて深く考えて欲しいと願っています。大学としても、参加学生による多様な活動への積極的な挑戦を応援していきます。

初年次長期自主活動プログラム (FLY Program)
平成 29 年度 活動報告会 式次第

日時：平成 30 年 5 月 28 日（月）17 時 00 分～
場所：駒場 I キャンパス 21KOMCEE East B1 階 K011

一．開会挨拶（藤井 輝夫 大学執行役・副学長）

一．5 期修了生による活動報告（5 名）

- ・「音楽で人はどのようにつながることができるのか」
～音楽を通じたコミュニティの形成・多様な文化と価値観に触れる～
- ・海外滞在を通じた発見、感動、そして人との出会い
- ・長期間の海外生活による知見の拡大・語学力の向上・自主性の獲得
- ・日本の地方産業を学ぶ
- ・多様な教育と生活にふれる

一．総括（石井 和之 推進委員会委員長）

一．修了証授与（石井 洋二郎 理事・副学長）